

# フィールド風

(現場)からの

宮田守男

11月下旬、長野から  
県道31号長野大町線を  
走行中、「ぼかぼかラ  
ンド美麻」手前のトン  
ネルで長野方面に移動  
するサルの群れに遭遇

する。小川村の里山に  
実った柿が収穫されず  
にいる現状が気になっ  
ていた。まるでサルが  
柿の実を求めて移動し  
ているのかと推測して  
しまう。柿の学名はギ  
リシヤ語で「神の食べ  
物」と言う意味の「ディ  
オスピロス」。日本で  
は名の由来には諸説あ  
り、將軍献上の際に「い  
まだかかると美味の柿を  
知らず」と賞賛され、  
また美味ゆえに「わが  
身も考えず食べ過ぎて  
しまう」などが名の由  
来と福島民友のコラム  
編集手帳さんが名の由  
来を紹介した。大町市  
などでサルなどの被害  
を防止するため設置さ

れた電気柵の影響か？  
近隣周辺でサルの被害  
が特に今年から多く聞  
かれている。被害情報  
が少なかつた小川村や  
長野市のサルの被害が  
心配になってしまう。  
降雪を期待する時期  
になっている。何人か

る声が聞こえてくる。  
インターネット予約が  
当たり前の中、これま  
で各スキー場が発表し  
た積雪情報では無く、  
1時間毎に約5〜四方  
ごとに地図に表示。よ  
り具体的にスキー場の  
細部まで滑走ができる

ンから本格的に始まる  
との意識を是非持って  
ほしい。  
信濃毎日新聞が長野  
県内の10月の月降水量  
が全県で記録的降水量  
を記録。このうち長野  
では台風19号が接近し  
た日の降水量が、観測  
史上最多だったと伝え  
た。11月、会議等で野  
沢温泉村と中野市に2  
度訪れる機会があっ  
た。報道で千曲川決壊  
での大きな被害は知っ  
ていたが、通称アップ  
ルラインを走行すると  
車窓から見える被害状  
況は、心を深く曇らせ  
た。しかし多くの場所  
で、参加ボランティア  
を誘導する場面や、徒

歩で被害農地の片づけ  
に向かうボランティア  
の姿に頭が下がる思い  
だった。一日も早い日  
常の生活を取り戻す事  
を期待したい。  
(信州地域社会フォー  
ラム会員・白馬村森上)



サルの被害が危惧される街道は  
故郷の原風景を醸し出す大切な資源だ

## 多発する自然の猛威への 対応は広域的視点が必要だ